

「ブレイブサーガ」というゲームにおける「よ」、「ぞ」及び「ぜ」と いう終助詞の用法の考察

序論

世界中においては様々な言語が存在する。一つの言語は他の言語と相違を持ち、それぞれの特徴をもっている。日本語においては「助詞」というものがあり、それらは様々な機能を持つ。その「助詞」のなかに「終助詞」というものがある。「終助詞」は文や句の終わりにつけ、話し手の疑問や禁止、感動、強調を表すものである。「ブレイブ・サーガ」というゲームをする際に、筆者は「よ」、「ぞ」及び「ぜ」という終助詞を見つけ、それらの機能に興味を持つことになり、それらの終助詞について研究を始めることになった。「よ」、「ぞ」及び「ぜ」はある場合に同様の意味を持つが、他の場合において違う意味を持つ。また、辞書形の動詞に付く場合、特に「行く」それらの終助詞は意味論的に説明できないものもある。

本論

新村(1991:2626)によると「よ」は現代語では、接続のちがいで、男女の差が明らかになる。たとえば、一では体言に「だ」を介して付けば男ことば、直接付けば女ことば。終止形に付けば男ことば、

「わ」を介して付けば女ことばである。また、富田(1991:170)によると、「よ」は、おおむね、話し手が自分の思ったことを話相手に伝えてそのようにさせたいと思ったときに文末に付けるが、「よ」の表している話し手の意思是「よ」が付いた単語によって違う。「よ」は忠告、勧誘、禁止、通告・念を押すとき、命令、訴え、返答、呼びかけの文につかわれている。そして、庭(2004:289)によると「よ」は自分のことばを聞き手に対して強く示す。この言葉は今聞いているあなたに向けられているのだ、という意味合いである。上昇調においては特に相手に対して知らせるという面が強くなる、また 相手に注意を促す場合においても上昇調になる。下降調で相手の考えとは違うことを強く主張している。「よ」は命令、依頼にも付く。さらに確認し、押し付ける感じを表す。最後に「よ」は疑問文の「か」の後に「よ」をつけることがあるが、質問というより、疑いの表明で、「本当はそうじゃないだろう」という気持ちが含まれることがある。さらには、反語の場合にも使われる。小野(1997:7)によると「よ」は以下の用法を持つ：

- 1) 聞き手が知らないと思われる情報を聞き手に告げ知らせる用法。
- 2) 聞き手は知っているとしても、目下の状況に関与的であると気付いていないと思われる情報について聞き手の注意を喚起する用法
- 3) 独り言用法。

「ぞ」は新村(1991:1479)によると聞き手に対して自分の発言を強調する。体言に「だ」を介して付く。また、庭(2004:293)によると「ぞ」は男のかなり乱暴な言い方である。強い主張を表す。聞き手がなくても（独り言でも）使える。富田(1991:172)によると「ぞ」は以下の機能を持つ：

- 1) 強く念を押して言う場合（状況をはっきり分からせたり、間違いがないようにもう一度言ったりする場合）に文末に付ける。
上の立場の者が下の立場の者に対して使う。

- 2) 自分の判断や決心を独り言で言う場合に文末に付ける。

さらに、小野(1997:7)によると「ぞ」はこのようなものである：

- 1) 自分の判断を自分に言い聞かせる。独り言に用いる（男性専用）。
- 2) 話の内容について念を押して主張する。対等または目下の相手に対する言い渡し、おどかし、警告などの語気を含む。

（男性専用）

「ぜ」は新村(1991:1405)によると文末に添えて、軽く念を押し、意を強める語で、主に男性の会話に用いるぞんざいな表現である。また、

「ぜ」は男性のことばであり、かなり乱暴である。「ぞ」に近いが、相手の反応を見ているところがあるため、独り言ではふつう使わず、勧誘の

「Vーよう」とともに使える。「ぜ」は小野(1997:8)によると以下の用法を持つ：

- 1) 自己確認用法
- 2) 自信に満ちて得意がって相手を軽蔑するような気持ちを表す。
- 3) 親しみの気持ちをこめて相手に注意を促したり、念を押す。

結論

「ブレイブ・サーガ」というゲームにより見つけられたデータを分析した後、筆者は以下の結論を判断することができる：

1. 「よ」は以下のような機能を持つ：
 - ある文は新しい情報であることを示す。
 - 命令文において命令を強調する。
 - 勧誘文において勧誘を強調する。
 - 付いた単語の意味を強調する。
 - 疑問詞に付くとある事柄が正しいかどうかであること、また話し手が自分と反対であることに反対感を表す。
 - 名前或いは特定の名詞に付くと、ある人及び物を呼びかけるために使われる。
 - 独り言に使われる。
 - ある文を命令文或いは勧誘文にする。
2. 「ぞ」は以下のような機能を持つ：
 - 付いた単語の意味を非常に強く強調する。

- 「のだ」がある命令文において命令を強調する。
- 独り言の文に使われる
- 脅かしを示す。
- 警告を示す。
- ある文を命令文或いは勧誘文にする。

3. 「ぜ」は以下のような機能を持つ：

- 勧誘文に勧誘を強調する
- 話し相手の注意を促すために親しみ気持ちを加える。
- 付いた単語の意味かなり強く強調する。
- 自信に満ちる相手に軽蔑あるいは怒りを示す。
- 相手に聞かせるために自分の感動あるいは決意を強調する。
- ある文を命令文或いは勧誘文にする。

4. 接続によると「よ」、「ぞ」及び「ぜ」は以下のように区別ことができる：

	よ	ぞ	ぜ
辞書形動詞	○	○	○
て形動詞	○	×	×
た形動詞	○	○	○
ない形動詞	○	○	○

勧誘形動詞	○	×	○
命令形動詞	○	×	×
辞書形形容詞	○	○	○
た形形容詞	○	○	○
ない形形容詞	○	○	○
形容動詞	○	×	×
名詞	○	×	×
疑問詞	○	×	×
助動詞「だ」のみ	○	○	○
助動詞「ます」、「です」など)	○	×	×
助詞	○	×	×

5. 「よ」は女性及び男性に使われ、丁寧語においても使われることが可能なため、さまざまな場面に使われる。「ぞ」及び「ぜ」は男性のみに使われ、丁寧語においては使われない。「ぜ」は主に不良、悪い人などに使われる。
6. 「よ」最も弱い強調及び脅迫感を持つ。「ぜ」は親しみの気持ちを表すことがあるため「よ」より強調及び脅迫感が強いが、「ぞ」より弱い。「ぞ」は最も強い強調及び脅迫感を持つため、警告及び絶対的なことを知らせる場合に使われることが多い。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR.....	i
SINOPSIS.....	v
DAFTAR ISI.....	xi
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	8
1.3 Tujuan Penelitian.....	8
1.4 Metode Penelitian dan Kajian.....	9
1.5 Organisasi Penulisan.....	11
BAB II KAJIAN TEORI.....	13
2.1 Pragmatik (語用論 <i>goyouron</i>).....	13
2.1.1 Implikatur.....	16
2.1.2 Presuposisi.....	18
2.1.3 Tindak Tutur.....	19
2.2 助詞.....	21
2.2.1 Jenis-jenis 助詞.....	22
2.3 終助詞.....	25
2.4 「よ」.....	27
2.4.1 Fungsi 「よ」.....	30

2.5	「ぞ」	34
2.5.1	Fungsi 「ぞ」	35
2.6	「ぜ」	37
2.6.1	Fungsi 「ぜ」	37
BAB III ANALISIS PERBEDAAN PENGGUNAAN よ, ぞ DAN ぜ.....		40
3.1	終助詞 よ.....	40
3.2	終助詞 ぞ.....	61
3.3	終助詞 ぜ.....	82
BAB IV KESIMPULAN.....		102
4.1	Fungsi dari 終助詞 よ, ぞ dan ぜ.....	102
4.2	Persamaan dan Perbedaan 終助詞 よ, ぞ dan ぜ.....	103
DAFTAR PUSTAKA.....		xiii
LAMPIRAN DATA.....		xiv
LAMPIRAN KLASIFIKASI DATA.....		xxiv
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....		xxxv